



夢に向かってまっすぐに

平成30年11月30日 (No.12)



夢の中には怖い冒険もある。美しい愛や友情もある。
このまま夢を見続けるんだ。

『学芸会5年生脚本「夢から醒めた夢」(赤川次郎)より』



▲ 6年生「奏～心に響く感動へ～」

11月10日(土)の学芸会では、多くの皆様から子供たちへの温かい励ましをいただき、本当にありがとうございます。ご家庭でも学芸会でのお子さんの頑張りを話題に、すてきな時間を過ごしていただけたことと思います。

5年生の劇の中に印象的な言葉がありました。「夢」という言葉は、「かなえたい目標」や「思い描くあこがれ」という意味にも重なります。夢を叶える過程には、勇気が必要なチャレンジの場面や、背中を押してくれる

人、励ましてくれる人、かけがえのない大切な人などとの多くの出会いも待っています。その時々で「夢」は変わるかもしれません。でも、私たちは、子供たちがそれぞれの夢をかなえるための大切な存在でありたいと思います。

今回、学芸会の完全入れ替え制にチャレンジいたしました。いかがでしたでしょうか。今回の状況を踏まえ、優先席と一般席の割合など、さっそく振り返りを行いました。この入れ替え制は、校内の「文化的行事委員会」という組織で原案を作成し全職員で検討した取組です。会議の中で、文化的行事主任の小野寺教諭から「今年は発表学年の保護者席を設けて、完全入れ替え制を行いたい。」と提案がありました。チャレンジには、当然リスクも伴います。「保護者の動線はどうするか?」「学年が続いたらどうするか?」様々な懸念を一つ一つ検討しながらも、「課題が出たら、次年度また改善しよう。今年、取組を見送れば、同じ結果が待っているだけだから。」と、全職員での合意に至りました。準備の中では、実際に動線を確認しながら、「ここに、こんな表示が必要…」と、副主任の齋藤葵教諭が緻密な表示計画を立てました。「ルートが分かりやすいように区画したら…」と、教頭が動きました。PTAと相談させていただき、必要な物品を購入させていただきました。都築会長も本部役員の皆様も、快く了承してくださいました。関わってくださった皆様のお力添えによって、大きな行事を無事に終えることができました。ご来校いただいた皆様にも、今回の取組に対するご理解と待ち時間や会場での譲り合いなど、多くのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。保護者の皆様も含めた「チーム向陽台」を実感する取組となりました。今後も、皆様からのご意見をいただきながら教育活動に取り組んで参ります。どうぞよろしく願いいたします。

「ひまわりのように 夢に向かって まっすぐに」2年次の点検を!



▲ 4年生PTA行事「百人一首」

明日から師走です。早いもので、皆様と共に取り組んできた協働型学校評価の重点目標について、振り返る時期となりました。昨日、「保護者アンケート」を配付させていただきましたので、ご協力をお願いいたします。「向小スタンダード(家庭学習の取組)」や「フリー参観」「ゲストティーチャーとの授業」「学芸会の取組」なども、アンケートを踏まえて改善してきた教育活動です。子供を真ん中に「学校」「保護者」「地域」それぞれの立場から、目標を共有した働きかけを行って参ります。ご協力のほど、よろしく願いいたします。

さえずり 囀をこぼさじと抱く大樹かな(星野 立子)

私たちは、子供の成長を支えるために、よりよい授業を目指して日々の実践に力を注いでいます。今年度は、全職員が「特別の教科 道徳」に取り組み、互いの授業を参観(授業研究)し、放課後に意見交換(検討会)を行っています。

検討会の様子です。「子供たちは、主人公の気持ちは読み取れたと思う。でも、自分ならどうするかまでには至らなかった。」「では、自分ならどうするかを考えさせるには、どの場面を取り上げて、どんな問いかけをしたらいいでしょう?」など、子供たちの授業中の姿をもとに議論が行われ、成果と課題を検証していきます。授業のプロとしての成長は、子供の学びの姿を通して、教師が本音で語る学び合いによるのだと感じる場面でした。これからも目指す子供たちの姿を共有しながら、皆で力量向上を図って参ります。

復興プロジェクト「感謝の会」

市内各校で行っている「故郷復興プロジェクト」。大震災から8年目、震災を経験していない子供たちが入学している現状があります。今年、取組のねらいを見直し、児童会で話し合っ



▲ 皆様に感謝を込めて

「地域の皆様への感謝の会」として行いました。ご来賓を代表して明石南連合町内会長の塚本様からお話をいただきました。その中で「皆さんも地域の一員です。」という言葉をいただき、子供たちが地域でできることもたくさんあると改めて感じさせていただきました。子供たちが地域の一員として、地域の宝として、「きらきら行動」を広げていけるよう、学校でも声掛けしていきたいと思ひます。ご来賓の皆様、ありがとうございました。